

(5)異臭の原因説明

技術的課題の内容	自社製品からカビ臭がするというクレームがあった。カビ臭の原因となる成分を特定して欲しい。
アプローチ	職員で正常品と異常品を嗅ぎ、カビ臭の有無を確認後、におい嗅ぎつきガスクロマトグラフ(GC-O)で、一般的なカビ臭の成分があるか、人を検出器として測定する。
使用機器	ガスクロマトグラフ(におい嗅ぎ装置付き)
結果の要約	カビ臭検知した時間 図 GC-Oのクロマトグラフ 図表は、イメージ画像です GC-Oによるにおい嗅ぎ分析で、墨汁様臭を感じた。匂いを感じた時間から、2-メチルイソボルネオールと推定された。
技術支援料	27,000円 想定事例で積算している技術支援料は、一般的な場合を想定したものです。ご依頼の内容によって変わります。
補足	カビ臭の成分はにおい閾値が低いため、低濃度でも異臭の原因になることがあります。GC分析でピークが見えないこともあります。